

参加者募集

市バス路線 ミライ会議

令和8年 8月9日 日

10:30～13:00

せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア

(仙台市青葉区春日町2-1)

有識者による トークセッション

～ これからの市バスの行く先とは ～



〈司会〉
榊原 進氏
(都市デザインワークス)



〈パネラー〉
吉田 樹先生
(福島大学)



〈パネラー〉
鈴木 文彦先生
(交通ジャーナリスト)



〈パネラー〉
谷本 裕香子先生
(東北工業大学)

参加者による グループワーク

運転士不足など、バス事業を取り巻く環境が全国的に厳しさを増すなか、
どうすれば市バスを守っていけるのでしょうか？

トークセッションやグループワークを通じ、参加者の皆さんと

ミライに繋がる市バスのあり方について考えます！

募集人数

50名程度

参加対象

宮城県内在住の
15歳以上の方

応募方法

下記アドレス または 二次元コードからお申し込みください

<https://logoform.jp/form/3PrJ/1594752>



募集開始

6月17日

募集締切

7月17日

主催

仙台市交通局
市バス路線のあり方に係る有識者会議

お問い合わせ：事業計画課
TEL.022-712-8310
《受付時間》9:00～17:00(平日のみ)

100
仙台市営交通100周年
1926 2026

市バス路線のあり方に係る有識者会議

仙台市営バスが、将来にわたり公共交通としての役割を果たしながら安定的な事業運営を続けることができるよう、仙台市交通事業経営計画(2026-2035)に掲げる路線再編を実施するための基本的な考え方を示す「市バス路線のあり方に係る基本方針」の策定にあたり、有識者の知見を活用することを目的として設置された機関です。

利用者数の減少や、全国的なバスの運転士不足により、多くの路線バス事業者が経営の危機にあるなか、私たちの住むまちの「バス」をどうしたら守っていけるのか、本イベントを通して、一緒に考えてみましょう。



鈴木 文彦 先生
(交通ジャーナリスト)

バス、地方鉄道を中心に公共交通の取材・執筆活動が続けたつら、各地の自治体や交通事業者のアドバイザー、協議会等委員を歴任
主な著書に「日本のバス～100余年のあゆみとこれから」など



高澤 由美 先生
(山形大学)

専門は都市計画や観光学
温泉街の再生や地方創生など持続可能な地域づくりを目指して教育・研究している
対話を通じて参加者の主体性を引き出し、地域の共創とウェルビーイングな環境づくりを支援している



谷本 裕香子 先生
(東北工業大学)

学生時代の福祉施設での勤務経験からケアに関心を持つ
大学卒業後、建築士事務所で6年間勤務し、一級建築士を取得
「認知症の人と環境研究所」所長
日本建築学会 福祉施設小委員会幹事
日本福祉のまちづくり学会 委員



徳永 幸之 先生
(宮城大学)

専門は交通計画、地域計画で、交通とまちづくりや企業戦略の関係について研究している
東北地方交通審議会委員、宮城県地域公共交通活性化協議会会長などの他、宮城県内自治体の様々な協議会等の会長・委員などを務める



吉田 樹 先生
(福島大学)

専門は地域交通政策
全国各地の公共交通政策に携わり「現場での実践」に基づく理論構築に努める
仙台市交通政策推進協議会会長
交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員

※五十音順

グループワーク

仙台市内の〈架空の〉まちの住民になって、市バスのあり方や役割について考えてみませんか？



- 普段バスに乗ってる？ バスってあなたの生活に必要？
- みんなにとって利用しやすいバスってどんなバス？
- バスがないと本当に困るときってどんな時？
- あなたのミライのために市バスができることって何だろう？

